

キャラクター名  
杏ノ瀬 帯人 (いちのせ おびと)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ブラム=ストーカー		ワークス	FHマーセナリーC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16 (高校2年)	性別	男
覚醒	渴望	衝動	嫌悪	初期侵食率	36 %	
出自	母親	経験	いじめ	邂逅	欲望：保持	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	1		0			1	行動値	13
感覚	2		0			2	(非装備時)	13
精神	4		0		5	9	戦闘移動	18
社会	1		0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：学問	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
じゃあね	RC	9r+2		15		C値8 与ダメージ時+2d10点HPダメージ 自分のHP0に コスト5
バイバイ (80%↑)	RC	9r+2		15		C値8 装甲無視 与ダメージ時+2d10点HPダメージ 自分のHP0に コスト7
お先にどうぞ (100%↑)	RC	9r+2		20		C値7 装甲無視 与ダメージ時+3d10点HPダメージ 自分のHP0に コスト7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
眼鏡	
スマホ	
煙草	
バイクのカギ	
ストラップ (思い出の一品)	
従者の選別：精神	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
生還者“リターナー”P		N		
本宮 環への罪悪感：RE	純愛	N 悔悟		
霧間 創：PU	P 信頼	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
CR：ブラム	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果： C値-1								
赤色の従者	1	5	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果： MaxHP [Lv×5+10] の従者作成								
血の絆	1	3	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果： +《赤色の従者》 従者はシーン間継続可								
血の戦馬	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果： 従者1体消滅 シーン中「制限：従者専用」エフェクト使用可能								
ブラッドボム	3	1	メジャー	-	-	対決	-	
効果： 与ダメージ時、追加で [Lv-1] D点相手も自分も失う。								
闇夜の呪い	3	2	メジャー	至近	範囲 (選択)	対決	従者専用	
効果： 攻撃+ [Lv×5] の射撃攻撃 自身のHP0に								
実体なき一撃	1	2	メジャー	-	-	対決	80%・従者専用	
効果： 装甲無視 HP5点消費								
患者の兵装	5	基本+4	常時	至近	自身	自動	従者専用	
効果： アイテムをLv個獲得								
ラストアクション	1	5	オート	至近	自身	自動	100%	
効果： 戦闘不能時、メインプロセスを行う 1/シナリオ								
完全演技	1							
効果：								
裸の王様	1							
効果：								
真相告白	1	1						
効果：								
効果：								

「正義ってのがあんなら、俺を殺してくれよ」  
「正義はなくても……彼女は俺にとっての『正しさ』なんだ。それ以外は悪でいい。俺も、お前も」

—性格—  
死んだような目をした少年。  
いつも少女の傍らで、痛々しそうに、にへらと笑っている。  
少女と行動を共にし、任務の時以外はどこへも一緒である。その行動は純愛というよりも依存に近い。  
通っている学校では少女と共にいじめの対象となっているが、何度殺されるような傷を受けても笑い続ける為気味悪がられている。  
基本は彼女の願いに従順で、彼女が誰かに危害を加えそうになる時だけ止める。

その実態は「彼女の為に生き、彼女の為に死ぬこと」を至上命題としているただの少年。  
彼女が狂っていることはとっくのとうに気が付いており、いつか来るであろう終わりの日まで「彼女の幸福」を演じ切ろうとしている。  
その為に利用できるものは何でも利用する。例えば自分自身の恋心だとしても……  
それが彼にできる罪滅ばしで、結局のところ、罪悪感をぬぐう、自分の自己満足何だろう。

その体は痣や傷だらけ。度重なる能力の発動に、他人からの暴力に、とっくのとうに再生速度は追い付かなくなっている。  
それでも、彼はその体を無理やり動かし、傍の少女へ手を伸ばす。決して二度と離さないように……

—能力—  
血液操作による自爆特攻を得意としている。  
具体的にはノイマンの超思考により脳内血流を高速流動させ、血管を破壊、爆破する。グロイ。  
また、死ぬ直前に体内の血流を操作して置き、頭部が爆破した直後に体内も連鎖爆破することが出来る。